夏の会員総会　講演会

ナイルに架ける橋　～ウガンダから見たアフリカと日本～

みなさん、アフリカに行かれたことがありますか！　今アフリカで日本のODAによる 100億円規模の大プロジェクトが進行しているのはどこの国だと思われますか？　遠くて情報がほとんど入らないアフリカですが、今回の講演はそのアフリカ、ウガンダで長年活躍している坂井逸朗氏（47回卒）のお話です。坂井氏は、1966年に甲陽学院高校を卒業して京都大学工学部に入学。1971年にコンクリート橋梁の設計・建設にかけては日本で一二を争う住友建設に入社。1976年から1978年には英国のコンサルタントで研修。その後、グアム、ケニア、フィリピン、タイ、ラオスで建設工事に関わり、2010年末からウガンダにおける橋梁の設計業務に従事、現在はその建設工事の施工監理業務に就任中です。

モンバサ港からウガンダ、ルワンダ、南スーダンなどの内陸国へつながる北部回廊は、東アフリカの発展に不可欠な大動脈ですが、ウガンダにおいてビクトリア湖を発するナイル川を渡河するための橋梁プロジェクトが日本のODAで進行中です。坂井氏は設計から建設、施工監理業務と一貫してこのプロジェクトの中心で活躍されています。

コンクリート橋梁は適切な点検を欠かさなければ最小限のメンテナンスで、特段のオペレーションを必要とせずに何十年も健全に機能し続けるインフラ。建設された地域やウガンダの発展はもとより、東アフリカの経済発展にも大きく寄与するものであると確信しているそうです。最後に日本のODAのあり方、また世界の途上国で働いてきた所感（途上国から見た日本）についてもお話しいただきます。多数の同窓会員のご参加をお待ちしております。

（建設中のナイル橋、完成イメージ）

坂井逸朗（さかいいつろう）氏　プロフィール

1966年 3 月　甲陽学院高校卒業。4 月京都大学工学部土木工学科入学。
1971年 3 月　京都大学工学部土木工学科卒業。4 月住友建設株式会社入社。設計部に配属され、その後、上記海外現場で副所長、所長として従事。この間、1998 年設計部長、2003 年理事職。
2001年 9 月　日本技術士会　技術士試験委員。2003 年 3 月まで務める。
2007年 4 月　日本大学理工学部大学院非常勤講師　2008 年 3 月まで務める。
2009年 4 月　株式会社 Oriental Consultants Global 事業本部入社。
2010年12月　同社 Senior Technical Adviser として、ウガンダのナイル橋建設プロジェクトに従事。

申込方法･会費など会員総会の詳しいご案内は、最終ページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

甲陽だより

発行所
〒662-0096 西宮市角石町3-138
甲陽学院同窓会
発行人　西村貞一
印刷所
株式会社小西印刷所
西宮市今津西浜町2番60号
TEL（0798）-33-0691

同窓会事務局専用
TEL 0798-71-4888
（月･水･木･金 10:00～16:00）
FAX 0798-71-4890
E-mail：
fvgp1650@mb.infoweb.ne.jp
同窓会ホームページ
http://www.koyogakuin-oba.jp

白鹿クラシックス HAKUSHIKA Classics
兵庫県西宮市鞍掛町7番7号
白鹿クラシックス webページはこちら
http://classics.hakushika.co.jp
■ショップ
電話:0798-35-0286
営業時間:10:00～19:00
定休日:火曜日
■レストラン
電話:0798-35-0001
営業時間: ランチ 11:00～15:00(L.O.14:30)
ディナー 17:00～22:00(L.O.21:00)
定休日:火曜日

公益財団法人
白鹿記念酒造博物館
電話：0798-33-0008
開館時間：10:00 ～ 17:00
（入館は ～ 16:.30）
休館日：火曜日
兵庫県西宮市鞍掛町8番 21 号

中学校講堂見納め会

中学校講堂の建て替えに伴って、取り壊しとなる旧講堂の見納め会が前号でお知らせしましたように 4 月10日（日）に実施されました。

当日は好天にも恵まれ予定通り10時の開始となりました。この日は同窓生でもある何人かの教諭が講堂に控えていたのですが、来校者はぽつりぽつりとしたもので、時間を少し持て余すことになるだろうと予想しておりました。ところがふたを開けてみると来場者はひっきりなしで、14 時までの 4 時間の間に 200 名を越える人々が足を運んでくださり大盛況でした。その顔ぶれの内訳も年配の OB の方、現在社会人の方、大学生の方、あるいは高校生、本人ではなく保護者の方、ご家族の方。年齢も性別も講堂への関わりも多種多様な人々でした。それぞれに写真を撮ったり、壇上に上がって演台の前に立ってみたり、あるいは長く窓際にたたずんでみたりする方や椅子に座って話し込まれるグループもあったりとその過ごし方もさまざま。何人かの人にお話を伺ってみると「こんなに明るい場所だったっけ」（壁の色を白く塗り直したり、照明も少し手直しして当初より明るい感じになっていました）「あの正面に音楽部が練習で使う楽器を入れておく棚があった」（私の記憶には全くなかったのですが、後で確認すると確かにあったとのこと）などなどその記憶の正確さに驚かされました。そして記憶に刻み込まれた「場」としての講堂が、それぞれの方の前にははっきりと立ち現れていることがわかりました。改めてあの中学という年代に式典の「場」として講堂の果たした役割の大きさと、成長した後もそこに行けばそれがあるという思い出の「場」という存在の大切さを痛感しました。

なお新講堂は 2017 年 3 月竣工の予定です。席数は約 1200 席で 2 階建ての建物となります。

この新しい講堂も旧来の講堂と同様に次代の甲陽生たちがここでそれぞれの経験を重ね「場」としてのおおきな役割を果たして行く事と思います。

（62回　嶋吉由喬）

中学校講堂の建て替え

見納めをした中学校の講堂跡地、さらにその周辺を加えた敷地に新しい講堂が建設されます。竣工は 2017 年 3 月。この『甲陽だより』を読んでおられる会員のなかには、ご子息が受験準備中という方もおられるかもしれません。いま小学校 6 年生という方は新しい講堂で入学式を迎えることになります。

新しい講堂は 2 階建て、座席数は 1200 席となる予定です。中学校の定員が増えた（高校からの入学試験は廃止）だけでなく、入学式などの学校行事に来られる保護者の数が年々増えているとのことで、それらに対応できるように旧講堂より一回り大きなものとなります。

高校が甲子園から甲陽園に移り、中学校の方は体育館が 30 年近く前に建て替わって、さらに校舎そのものが敷地をかえて新築され、そして今度は講堂が一新…、と思い出の地が次々と新しくなって寂しい思いをされる先輩方もおられるかもしれません。新しい中学校の講堂は、（教会にあるような）木製の長いイスが備えつけられる予定です。それをみて甲子園時代の講堂を思い出される方もおられるのではないでしょうか。

来年は甲陽学院創立 100 周年。それを言祝ぐように桜の花であふれる夙川のほとりに新しい建物があらわれます。外観や内装につきましては完成予想図をご覧ください。みなさんでイメージをふくらませて、来春を楽しみに待ちましょう。

（75回　辛島理人）

旧講堂 外観

新講堂 外観イメージ図

新講堂 内装イメージ図

創立記念音楽会

去る 4 月 29 日（金・祝）に本学院高等学校講堂に於いて、創立記念音楽会が行われました。今年は、ウェールズ弦楽四重奏団をお招きして、3 人の作曲家による弦楽四重奏を愉しむ演奏会でした。桐朋学園の学生により結成されたこのクァルテットは、今年で活動を始めて 10 年の節目を迎えられます。普段は各メンバーが関東の別々のオーケストラに所属して演奏活動をされています。今回の音楽会の前日夜に遠方で別の演奏会があり、当日の朝に移動して駆けつけたメンバーもいらっしゃったのですが、どんなに忙しくても毎月必ず集結して研鑽を積まれているとのことです。

今回の演奏会では W.A. モーツァルト「弦楽四重奏曲 第 2 番 ニ長調 K.155」、C. ドビュッシー「弦楽四重奏曲 ト短調 作品 10」、L.van ベートーヴェン「弦楽四重奏曲 第 12 番 変ホ長調 作品 127」の 3 曲が取り上げられました。

筆者は幸い昨年秋に演奏会を拝聴する機会を頂いたのですが、その際に感じたのは非常に丁寧な演奏をされるということです。この日も 1 曲目のモーツァルトから繊細でかつ溌剌とした響きを愉しむことが出来ました。

2 曲目のドビュッシーは自由な形式で書かれていて、不思議な響きが随所に現れる曲でしたが、印象に残るものでした。とりわけ集中力の高い演奏で、奏でられる音楽に客席が深く引き込まれていたように感じました。

3 曲目はウェールズ弦楽四重奏団が最近積極的に取り組んでいるベートーヴェンの後期の弦楽四重奏曲の一つです。今回の演奏会のメインにふさわしく、力強さ、メロディーの美しさ、透明感など変化に富んだ曲の表情を十二分に感じることが出来ました。　（74回 溝口貴浩）

会　務　報　告

平成28年4月26日に行われました同窓会役員総会における議論を中心に、会務についてご報告いたします。

1　平成27年度活動報告

会報編集委員会の森口委員長から、第92号を7月24日付で、第93号を3月15日付で発行したことが報告されました。

次に会員総会運営委員会について、昨年の8月29日に行われた会員総会について、202名の参加があったことや、収支（約20万円の支出超過）についての報告がありました。

甲陽ファンド管理委員会の泥委員長からは、平成27年度の募金総額が2,422,000円であったこと、平成28年3月までの収入総額が、利息収入を含めて 74,487,906円となっていること、現在まで延べ75名の在校生に一人年額20万円が支給されてきた実績などが報告されました。

会員交流委員会から、昨年10月2日に行われた第3回会員交流会に19名の参加があったことの報告がありました。

会員名簿編集委員会の久委員長から、2017年発行予定の会員名簿について、進捗状況と今後のスケジュールについて報告がありました。

2　平成27年度決算報告・監査報告

下に掲載の決算報告書が箱田副会長から説明され、二宮監事、水島監事、植木監事からの監査報告を受けて、平成27年度決算が承認されました。

3　平成28年度活動方針と予算・役員異動

平成28年度の活動方針として、会報編集委員会からは従来通り年２回の会報発行の方針であること、会員総会運営委員会からは8月29日の会員総会の概要（詳細は本紙１頁）が述べられました。会員交流委員会からは検討の結果、第4回会員交流会を中止とする報告がありました。

その上で、箱田副会長より下に掲載の予算書の説明が行われました。来年の母校創立百周年に当たり母校への記念事業として一千万円の支出を予算化することを含めて承認されました。

最後に会長の任期満了に伴い、西村貞一氏の再選が決定し、続いて二宮一明氏、水島昇氏、植木努氏の監事再選が承認されました。

後日、別表のように新役員が会長より委嘱されました。

● 平成27年度　決算報告書 ●

［収入の部］

科　目	決算額	予算額	差引額
会　費	11,307,000	9,100,000	2,207,000
年会費	1,392,000	1,300,000	92,000
終身会費	1,645,000	1,300,000	345,000
新卒入会金	1,230,000	1,200,000	30,000
新卒年会費	2,870,000	2,800,000	70,000
新卒終身会費	4,170,000	2,500,000	1,670,000
会報広告料	90,000	60,000	30,000
総会会費収入	1,047,700	1,300,000	△ 252,300
会費交流会会費	95,000	200,000	△ 105,000
利子収入	213,075	10,000	203,075
ストラップ収入	0	0	0
フォトフレーム	0	0	0
雑収入	0	0	0
寄付金	0	0	0
収入合計	12,752,775	10,670,000	2,082,775
特別積立金繰入	307,800	0	307,800
基本金解約	0		
繰越金	14,963,166	14,963,166	0
合　計	28,023,741	25,633,166	2,390,575

［支出の部］

科　目	決算額	予算額	差引額
人件費	2,097,800	2,116,000	△ 18,200
月手当	1,536,000	1,536,000	0
夏冬手当	320,000	320,000	0
通勤費	241,800	260,000	△ 18,200
交通費	0	100,000	△ 100,000
需用費	540,640	760,000	△ 219,360
通信費	328,983	400,000	△ 71,017
事務消耗品費	57,945	60,000	△ 2,055
備品費	9,668	100,000	△ 90,332
IT関係費	144,044	200,000	△ 55,956
会議費	2,142,407	2,500,000	△ 357,593
会員総会費	1,244,563	1,500,000	△ 255,437
役員総会費	194,978	250,000	△ 55,022
理事会費	302,195	250,000	52,195
委員会費	207,369	300,000	△ 92,631
懇談会費	193,302	200,000	△ 6,698
事業費	3,679,764	3,890,000	△ 210,236
甲陽だより	1,042,607	1,100,000	△ 57,393
郵送料	1,432,274	1,500,000	△ 67,726
振替用紙	135,123	140,000	△ 4,877
封筒	189,489	200,000	△ 10,511
記念品	284,290	400,000	△ 115,710
母校後援費	160,000	200,000	△ 40,000
会員交流費	99,550	200,000	△ 100,450
地域活動費	28,631	150,000	△ 121,369
HC記念品	307,800	0	307,800
雑費	141,381	280,000	△ 138,619
校内志	30,000	30,000	0
慶弔その他	37,917	100,000	△ 62,083
振替料	65,384	100,000	△ 34,616
その他 雑経費	8,080	50,000	△ 41,920
支出合計	8,601,992	9,646,000	△ 1,044,008
特別積立金繰入	0	0	0
新基本金繰入	10,000,000	10,000,000	0
予備費	0	5,987,166	△ 5,987,166
支出総計	18,601,992	25,633,166	△ 7,031,174
収入総計	28,023,741		
支出総計	18,601,992		
翌年繰越金	9,421,749		

◎H28年3月末日現在　現預金残高明細

＊三井住友銀行(普通預金)	12,838,041円
＊郵便局(普通預金)	518,549円
＊　〃　(振替通知票)	2,469,540円
＊池田泉州銀行(普通預金)	1,030円
＊手持現金	65,041円
合　計	15,892,201円
甲陽F預かり金	6,470,452円
合　計	9,421,749円

本日、会計監査の結果、帳簿と金額に相違ないことを、ここに確認いたしました。

監　事　二宮一明 ㊞
　　水島　昇 ㊞
　　植木　努 ㊞

（単位：円）

● 平成28年度　予算書 ●

［収入の部］

科　目	H28年度	H27年度決算	H27年度予算
会　費	9,100,000	11,307,000	9,100,000
年会費	1,300,000	1,392,000	1,300,000
終身会費	1,300,000	1,735,000	1,300,000
新卒入会金	1,200,000	1,230,000	1,200,000
新卒年会費	2,800,000	2,870,000	2,800,000
新卒終身会費	2,500,000	4,080,000	2,500,000
会報広告料	60,000	90,000	60,000
総会会費収入	1,300,000	1,047,700	1,300,000
会費交流会会費	200,000	95,000	200,000
利子収入	10,000	213,075	10,000
ストラップ収入	0	0	0
雑収入	0	0	0
寄付金	0	0	0
収入合計	10,670,000	12,752,775	10,670,000
特別積立金繰入		307,800	
基本金繰入	10,000,000		
繰越金	9,421,749	14,963,166	14,963,166
収入総計	30,091,749	28,023,741	25,633,166

［支出の部］

科　目	H28年度	H27年度決算	H27年度予算
人件費	2,116,000	2,097,800	2,116,000
月手当	1,536,000	1,536,000	1,536,000
夏冬手当	320,000	320,000	320,000
通勤費	260,000	241,800	260,000
交通費	100,000	0	100,000
需用費	760,000	540,640	760,000
通信費	400,000	328,983	400,000
事務消耗品費	60,000	57,945	60,000
備品費	100,000	9,668	100,000
IT関係費	200,000	144,044	200,000
会議費	2,500,000	2,142,407	2,500,000
会員総会費	1,500,000	1,244,563	1,500,000
役員総会費	250,000	194,978	250,000
理事会費	250,000	302,195	250,000
委員会費	300,000	207,369	300,000
懇談会費	200,000	193,302	200,000
事業費	13,890,000	3,679,764	3,890,000
甲陽だより	1,100,000	1,042,607	1,100,000
郵送料	1,500,000	1,432,274	1,500,000
振替用紙	140,000	135,123	140,000
封筒	200,000	189,489	200,000
記念品	400,000	284,290	400,000
母校後援費	200,000	160,000	200,000
会員交流会	200,000	99,550	200,000
地域活動費	150,000	28,631	150,000
HC記念品	0	307,800	0
100周年事業費	10,000,000	0	0
雑費	280,000	141,381	280,000
校内志	30,000	30,000	30,000
慶弔その他	100,000	37,917	100,000
振替料	100,000	65,384	100,000
その他 雑経費	50,000	8,080	50,000
支出合計	19,646,000	8,601,992	9,646,000
特別積立金繰入	0	0	0
基本金繰入	0	10,000,000	10,000,000
予備費	10,445,749	0	5,987,166
支出総計	30,091,749	18,601,992	25,633,166

（単位：円）

甲陽学院創立 100 周年記念

同窓会 会員名簿 販売・賛助広告・賛助金ご協力のお願い

会員名簿編集委員会

かねてよりお知らせいたしております通り、2017年の甲陽学院創立100周年を記念して、会員名簿を発行いたします。今回の発行は2003年以来となります。会員の皆様には会員名簿販売、賛助広告・賛助金募集においてご協力のほどよろしくお願いいたします。

このたびの会員名簿の発行に要する経費には、名簿販売収入、賛助広告収入、賛助金収入があてられます。そして各々の一部が委託先である株式会社サラトより同窓会に還元されることになっております。同窓会はこの還元金を主たる原資として母校甲陽学院に対し100周年記念事業を行う予定です（平成28年度予算承認済み）。すなわち皆様のご協力は会員名簿の発行経費をまかなうだけでなく、同窓会を通じた母校に対する貢献の意味をもつこととなります。その趣旨をお汲み取りいただき、会員の皆様には積極的に名簿をご購入いただき、賛助広告・賛助金募集に応じてくださるよう切にお願い申し上げます。

2016年4月上旬にお手元へお届けした名簿記載事項調査資料の「調査はがき」にて名簿購入申込、賛助広告・賛助金申込が可能となっております。「調査はがき」がお手元にある会員の皆様には調査へのご回答とともにぜひともお申込みをお願いいたします。また次の会員の皆様は下記連絡先まで至急ご連絡をお願いいたします。(１) すでに「調査はがき」を申込無記入で返送済みの会員の方(２)お手元に見当たらない会員の方(３)名簿掲載事項調査資料がお手元に届いていない会員の方。

すでに賛助広告・賛助金ご協力のお願いは各種方法により行ってまいりましたが、2017年2月の会員名簿発行を控え、2016年10月末日が申込最終締切日です。今後、会員名簿編集委員会あるいは委託会社（株式会社サラト）より直接お願いをすることがあるかもしれません。その節はよろしくお願いいたします。

賛助広告といえば、法人、団体、個人事業主の経費による出稿を連想される向きが多いかと存じますが、経費による出稿が困難な場合において、勤務する複数同窓生個人拠出により法人広告を出稿して下さるケースもあることを申し添えます。また前回の会員名簿でも多数見受けられた学年、クラスやクラブなど同窓生グループでの広告出稿を歓迎いたしております。これらの場合、原稿の準備に時間のかかることが予想されますのでなるべく早めのお申込みをお願いいたします。

会員の皆様のご協力を得て、この甲陽学院同窓会会員名簿発行事業を成功させたいと念じておりますので何卒よろしくお願いいたします。

会員名簿購入代金 1 冊 5,000 円

賛助広告料金（税込）
カラー 1 頁 (216,000 円)
モノクロ 1 頁 (108,000 円)
モノクロ 1/2 頁 (54,000 円)
モノクロ 1/4 頁 (32,400 円)
名刺広告 1/10 頁 (19,000 円)

賛助金 1 口 (10,000 円)

賛助広告・賛助金協力者には会員名簿 1 冊を贈呈いたします。

【連絡先】
株式会社サラト(委託先)：
0120-951-203（専用電話 / 通話料無料）
甲陽学院同窓会事務局：
0798-71-4888
（月・水・木・金 10:00～16:00）
甲陽学院 箱田教諭（同窓会副会長）：
0798-73-3011（上記時間帯以外）

平成28年度　同窓会役員

平成 28 年度の甲陽学院同窓会の役員は以下のとおりです。

役　職	氏　名	回生
名誉会長	有田和男	31
会　長	西村貞一	45
副会長	山崎仁嗣	47
	辰野久夫	51
	箱田光信（専務理事兼務）	57
相談役	平田　豊	22
顧　問	横内　昭	34
	尾山啓二	35
	中村貞三	35
	泥　光重	39
	守殿貞夫	41
	宮崎恒彰	42
	揚野　寛	45
	大川貴史	55
	今西　昭	57

役　職	氏　名	回生
常務理事	中野忠夫	44
	西村公男	46
	河内厚郎	52
	吉井友実	54
	森口　匡	55
	中務裕之	57
	嶋吉由喬	62
	久　義裕	62
	梅谷幸弘	67
	溝口貴浩	74
	辛島理人	75
監　事	二宮一明	33
	水島　昇	49
	植木　努	65

終身会費納付額設定表(平成28年4月1日～平成29年3月31日まで)

97回～91回	30,000円	77回	37,000円	63回	23,000円
90回	50,000円	76回	36,000円	62回	22,000円
89回	49,000円	75回	35,000円	61回	21,000円
88回	48,000円	74回	34,000円	60回	20,000円
87回	47,000円	73回	33,000円	59回	19,000円
86回	46,000円	72回	32,000円	58回	18,000円
85回	45,000円	71回	31,000円	57回	17,000円
84回	44,000円	70回	30,000円	56回	16,000円
83回	43,000円	69回	29,000円	55回	15,000円
82回	42,000円	68回	28,000円	54回	14,000円
81回	41,000円	67回	27,000円	53回	13,000円
80回	40,000円	66回	26,000円	52回	12,000円
79回	39,000円	65回	25,000円	51回	11,000円
78回	38,000円	64回	24,000円	50回～	10,000円

甲陽学院同窓会奨学金ファンド醵金者一覧

平成28年1月1日以降5月31日までにファンドに醵金くださいました方のご芳名を以下に掲載いたします(敬称略)。まことにありがとうございました。(平成27年12月31日以前に醵金された方は73号～93号に掲載しております。)

19回　石井　賢治
20回　川島　　茂
23回　山中　成一
24回　織部　成一
25回　安達　正昭
27回　光野　　昭
33回　大幡　嘉春
33回　森下　哲志
34回　江隈　一夫
35回　尾山　啓二
38回　江嵜健一郎
38回　佐藤　康人
38回　濱岡　佳明
38回　吉本　文彦
39回　榊　　靖夫
39回　加輪上敏彦
40回　川崎　真介
40回　林　　範一
41回　橋本　　久
41回　新田　裕之
43回　藤本　勝司
43回　大針　洋男
45回　岡本　定行
45回　西村　貞一
45回　小林　智夫
46回　堀口　貞茲
46回　野口　善國
47回　多賀　　豊
48回　梅本　　実
49回　市村　光信
50回　岩朝　　央
51回　内田　邦彦
51回　近藤　友之
51回　佐野　良彦
51回　横田　真彰
51回　井阪　　博
52回　小原　　進
52回　土居　章展
52回　福島　芳樹
53回　白井　良平
53回　友田　健司
54回　中野　　茂
54回　中島　祥好
54回　前田　　一
55回　桜井　太郎
57回　芝原　　功
57回　岩田　圭一
57回　白尾　誠二
59回　島本　佳憲
60回　阿多　博文
60回　藤岡　由夫
62回　長宅　芳男
62回　高橋浩一郎
64回　岡原　正周
64回　小屋　裕司
65回　植木　　努
68回　米今　敬一
68回　園田　将章
69回　大津　雅亮
74回　徳岡　俊治
74回　西山　敦史
80回　立野　靖人
81回　山脇　敬博
91回　玉水　公人
91回　康　　欣哲
97回　竹中　　稜
97回　中澤　一晴
高商1回　中村誠太郎
35回生　B組有志
65回生　同窓会
97回生　育友会

[醵金方法]

（１）同封の振込用紙を利用し、通信欄にファンドへの醵金の旨を明記して、郵便局もしくは三井住友銀行の「甲陽学院同窓会」の口座にお振り込み下さるか、

（２）三菱東京UFJ銀行芦屋支店　普通口座3998990　口座名義　甲陽学院同窓会奨学金ファンド　にお振り込み下さい。

(2)の場合、振込人の卒業回が分かるようにお願いします。

第４回会員交流会中止のお知らせ

平成28年3月15日発行の「甲陽だより」第93号において、甲陽学院同窓会第4回会員交流会を本年10月28日（金）に開催する旨、ご案内を差し上げましたが、今般、検討の結果取りやめることといたしました。

皆さまにはご迷惑をおかけすることになり、誠に申し訳ございません。お詫び申し上げます。

ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成28年７月

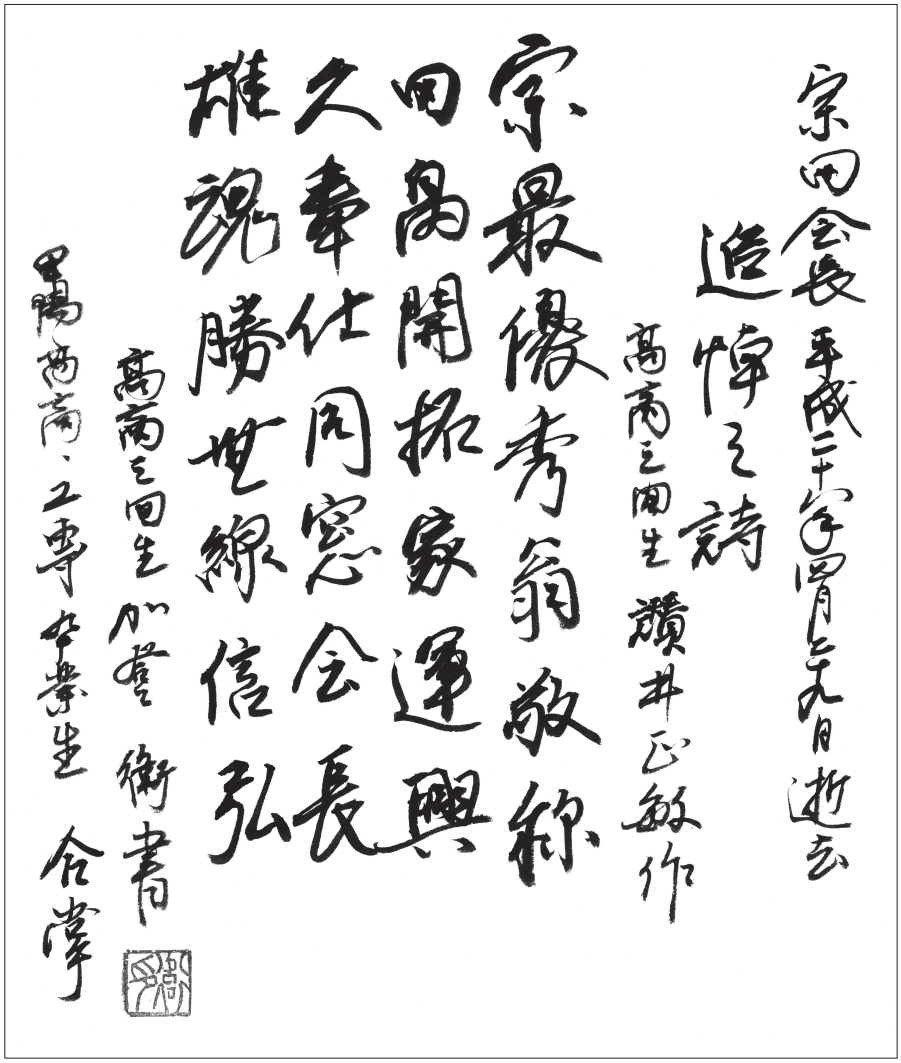
甲陽学院同窓会
会長　西　村　貞　一

追悼　宗田久雄　同窓会副会長

宗田久雄様が4月29日亡くなられました。
謹んでご冥福をお祈りします。
また、ご生前にお世話になったお礼を申し上げます。
甲陽高商・工専を卒業後70年　望洋会会長として勤められ、
神戸元町風月堂での集まりに出席の中、懐かしい話や、
多くの新しいニュースの話題を提供され、会を和ませて下さいました。
その折の様子が、今も思い出され、西宮香櫨浜の学舎の映像と共に、
強い青春の思い出として残っております。
宗田様、長い間本当にありがとうございました。

（甲陽工専1回生　東山　義彦）

以下は、高商３回生の讃井 正敏氏が詠まれた追悼の詩を、同じく高商３回生の加登　衛氏が書に認めたもの及びその書き下し文です。



追悼の詩
高商三回生　讃井正敏 作

宗最優秀翁敬称
　宗（そう）は最優秀（さいゆうしゅうおう）の敬称なり。
田畠開拓家運興
　田畠（でんぱたかいたく）し家運興す。
久奉仕同窓会長。
　久しく同窓会長（望洋会会長）を奉仕す。
雄魂勝無線信弘
　雄魂は　無線の信に優れ弘し。

高商三回生　加登　衛　書

「岩尾政利先生を偲んで」

昭和 43 年の春、甲陽学院中学校の校庭にあった高鉄棒で、岩尾先生は大技の大車輪を難なくやってのけられた。それを見ていた誰かが、「もとは体操の先生やったらしいで」と、まことしやかに言ったのを聞いて真に受けたことを思い出す。

昭和 43 年 4 月、私たち 55 回生は甲陽学院中学校に入学した。岩尾先生が市立西宮高校から甲陽学院中学校に移られ教鞭をとられることになったのもこの時なので、光栄なことに私たちは先生にとって甲陽で初めての教え子となった。先生の思い出は尽きないが、私の一番の古い記憶は、この大車輪の光景だ。

先生の英語の授業は厳しかったので、大変失礼ながら、同級生の間では「鬼の岩尾」とされていたが、生徒に対する愛情は大変深いということは皆が分かっていた。生徒が授業中、期待に応えられないときには本当に悲しそうな表情をされていたことを思い出す。私は正真正銘の劣等生で少々やんちゃだったので、他の先生に迷惑を掛けないための配慮だったのか、中高 6 年間のうち 5 年間も担任して下さった。もう少し勉強しておけばと反省しきりだが、私がいま担当している海外事業業務に何とか対応できているのも先生のお陰であることは言うまでもない。出来の悪い子だったからか、大変可愛がって頂いた。卒業後もご自宅に呼んで頂いたり、数名の同級生と一緒に飲みに出掛けたりと、私たち 55 回生が成人してからも惜しみない愛情を注いで下さった。そして、私の結婚に際して仲人をお受け頂いたことは、私たち夫婦にとって一生の財産である。そんなご縁もあって、先生だけではなくご家族とも親しいお付き合いを頂き、現在に至っている。

先生は、ずっとお元気で幾つになられても本当に若々しかった。2014 年 3 月 21 日の「岩尾政利先生の米寿を祝う会」では、昔と変わらない力強く透き通ったお声でスピーチをされ、素敵な笑顔と背筋の伸びた若々しいお姿が大変印象的だった。その約 8 ヵ月後にご自宅で倒れられるとは、そのとき誰もが想像できなかった。倒れられる前日まで、受験生に英語を教えておられたとのことだった。

先生は、2014 年 11 月 4 日にご自宅二階で倒れられた。急性くも膜下出血の手術を経て、リハビリに取り組まれ、手すりにつかまって歩行できるまでに回復されたが、その後徐々に体調を崩された。2016 年 1 月 28 日未明、ご家族に看取られながらご逝去されたとお聞きしている。私は 2015 年 2 月、久しぶりにご自宅にお電話したことで先生のご病気を知ったので、その後は定期的にお見舞いに伺うことができた。先生は強いご意思でリハビリに取り組まれ、2015 年の春頃に伺ったときには、満面の笑みで迎えて下さった。言葉は随分不自由になられていたが、優しい笑顔は昔のままだった。その時はきっと快方に向かわれると思っていたが、残念ながらあのときの笑顔が最後の思い出になってしまった。

深い愛情に満ち溢れた岩尾政利先生にご縁を頂いたことに、改めて感謝申し上げると共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。先生、ありがとうございました。

（55回　伊藤幹久）

「渥美憲一先生を偲んで」

私たち 77 回生の学級担任を務められた渥美憲一先生がお亡くなりになったという知らせを受けたのは 1 月 27 日のことでした。朝、職場でメールチェックをするとフェイスブックの 77 回生連絡網に溝口君から書き込みがありました。まだお若いですし、ご病気だという話も聞いていなかったので、本当に突然の訃報でした。その日の昼には河嶋君から前夜式（プロテスタントにおける通夜）に一緒に行こうと連絡があり、次の日、参列しました。

ここ数年 77 回生もフェイスブックでお互いにすぐに連絡を取り合えるようになり、年末には数十人集まる同窓会を開くようになったおかげで、2013 年の忘年会には渥美先生もご出席いただき、卒業以来十数年ぶりにお会いし、お話しする機会がありました。卒業時から 20 年近く経つのに当時と何も変わらないお姿にびっくりしました。また、先生は定年退職後に洗礼を受けてクリスチャンになり、念願の、聖地サンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼の旅をして充実した日々を送っておられると聞いて驚きました。

私たちが学生時代の渥美先生といえば、毎日髪の毛を振り乱しながら黒板に向かう姿がとても印象的でした。77 回生が甲陽学院中学校に入学した 1990 年にちょうど、先生も甲陽に赴任してこられ、中学生に英語を教えるのは初めてということもあり、今思えばとても苦労されていたと思います。私たちに真正面から向き合って常に真剣に教えようという熱意が伝わってきました。一方で、そんな熱血の先生も生徒からは「アッチー」という愛称で親しまれ、卒業して 20 年が経った今でも、同級生が集まると先生の口癖だった動名詞の覚え方の語呂合わせ「ミスメガフェッピサドク」で盛り上がってしまいます。他にも今回追悼文を書くにあたって同級生から先生にまつわる思い出が寄せられたので、紹介させていただきます。

“好きな先生でした。ぼくたちのことを一人の大人として接してくれていました。高校から編入したときに「ここの生徒はみんな勉強していてもしていないフリするから気をつけなきゃいけないよ」とアドバイスいただいたのにちゃんと聞かず反省しています。”

“先生に車で駅まで送っていただいた際に、先生のお宅に芦屋市街を一望できるプールがあるので入りに来ないか、とお誘いを受けました。6 年間に亘って先生の謦咳に接し、高校ではずっと先生のクラスでしたが、ついに先生から一個人としてお話を伺う機会がなく、あの時、水着なしでもプールにお邪魔していれば良かったと悔いています。”

このように生徒達からも愛される先生でした。謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げます。

（77回　新本竜也）

リレーエッセー

甲陽の先輩

森崎　孝(54回)

早いもので社会人になり今年で39年を迎えましたが、この間随所で甲陽の先輩にお世話になりました。今日はその中から為替・金利・株式といった市場関連業務でお世話になったお二人の話から始めたいと思います。

1988年米国留学（ニューヨーク大学経営大学院)、ニューヨーク支店勤務を終え帰国すると同時に、通貨オプション取引を立ち上げるように命じられました。オプション取引については、『ブラック・ショールズ・モデル』(注1) を経営大学院（ビジネススクール）で学びましたが、実務としてどのように立ち上げればよいのかは全くわからず途方にくれていた頃にいろいろとご指導いただきましたのが住友銀行（当時）の藤澤哲史先輩(53回) です。当時既に東京市場のみならず、ニューヨーク／ロンドン等の海外市場でもその名を馳せておられ、通貨オプション市場における取引相手(カウンターパーティ)として市場で取引をすることも度々ありましたが、先輩の厳しいご指導のお陰で短期間の内に一本立ちすることが出来ました。

(市場の動向を読み間違えてコテンパンに痛めつけられた(？)ことも度々ありましたが・・・)

また当時は本邦における通貨オプション市場のルールが十分に確立しておらずトラブルが絶えない時代でしたが、藤澤先輩と力を合わせて細かいルールを一つずつ作り上げ、通貨オプション市場の礎を築くことが出来たのではないかと自負しています。

(注1) 1973年　Fisher Black と　Myron Scholes によって発表されたオプション価格算出のための理論式。1997年　Myron Scholesはこの功績によりノーベル経済学賞を授与されています。

もう一人は、2013年4月日銀による異次元の金融緩和が実施された当時、みずほコーポレート銀行(当時)で市場部門を率いておられた西恵正先輩（53回）です。私も当時市場部門の責任者をしておりましたが、未曾有の金融緩和に対してどのように対処すれば良いのか悩んでおりました時に、理論派としても名を馳せておられた西先輩からの制度／運用の両面における助言は本当に助かりました。金利が1%動くだけで評価損益が数千億円単位で上下するサイズの資産運用(ポートフォリオ運営)を行っておりましただけに、舵取りが極めて難しい時期に市場に大きな混乱を引き起こすことなく無事乗り切れましたのも西先輩のお陰と感謝しております。

このお二人は甲陽のみならず大学の先輩でもありますのでますます頭が上がらない訳ですが、両先輩と力を合わせて日本の金融市場の発展に向け一緒に仕事ができたことをとても誇らしく思います。所属する金融機関はそれぞれ異なりましたが、オールジャパンの見地からお客様のために、また東京市場／グローバル市場の健全な発展のためにといった大きな目的を共有させていただける先輩と一緒に仕事が出来たことは筆舌にも変えがたい貴重な経験です。

私自身は、一昨年西日本の責任者として甲陽のホームグラウンドと言うべき関西の地に40年振りに戻って参りましたが、関西においても辰馬章夫理事長／西村貞一同窓会会長（45回）を初め甲陽の先輩／後輩の皆さんにより一層お世話になっています。関西には関西経済連合会、関西経済同友会、大阪商工会議所という経済三団体が中心となって関西経済の底上げにご尽力いただいておりますが、微力ながらご重職についておられる諸先輩からご指導いただきつつ財界活動にも精を出しております。

勿論一番気の置けないのは6年間一緒に勉学(？)に励んだ同期（54回）の皆さんです。先日も同期のゴルフコンペ(ダンロップCC) でご一緒させていただきましたが、仕事と異なり心から楽しめるひと時を過ごさせていただきましたことに感謝、感謝です。甲陽でお世話になった担任の先生方(1組:中島久先生、2組:谷本勇先生、3組:山田隆春先生、4組：林歳明先生)(注2) の話でも大いに盛り上がりました。

(注2) 1組：叱られる度に耳を引っ張られた中島先生
2組：英語の基礎をしっかりと教えてくださったダンディーな谷本先生
3組：『これは何かというと』という名調子で数学の本質を教えてくださった山田先生
4組：動詞・助動詞の活用変化を徹底的に叩き込んでくださった林先生

甲陽での楽しかった6年間は遠い昔の話になりましたが、年が経つに連れて2倍にも3倍にも輝きを増してくるように思われます。欧米の金融市場では『Once a dealer, always a dealer.』(ひとたびディーラーたるものは、終生ディーラー仲間である）と言われますが、今後第二の人生、第三の人生においても『Once a Koyo, always a Koyo.』の精神で先輩の皆さんにご指導いただきながら、又後輩の皆さんのお役に立てるように頑張っていきたいと思います。

森崎　孝(もりさきたかし)
東京大学経済学部卒業後、三菱銀行へ入行。東京、ニューヨーク、ロンドン勤務を経て、三菱東京UFJ銀行副頭取(西日本駐在)。平成28年7月より顧問

原稿は出来る限り４００字詰原稿用紙１枚以内にして下さい。原則として原稿（含写真）は返却いたしませんので御了承下さい。

会員だより

第36回生 同窓会

5 月 26 日ホテル竹園芦屋で毎年一回の同窓会が開催されました。

当日は八十路を迎える 23 名が参加し、但井浩二君のコントラクトブリッジの講話と、原納優君の健康維持の講話を楽しみました。

また、西村善明君から参加者全員に、尼崎の蜂蜜の提供を受けました。

翌日は芦屋カンツリー倶楽部で 5 名がプレーを楽しみました。

2017 年の同窓会は、6 月 8 日（木曜日）に同じくホテル竹園芦屋で行うことが決まりました。

39回 喜寿記念同窓会

平成 28 年 3 月 29 日～ 30 日一泊二日で喜寿記念同窓会が北陸新幹線開通一年目で賑わう北陸片山津温泉で開催されました。昭和 33 年卒の 39 回生は東京、大阪ではそれぞれ定期的に同窓会を開いていますが、東西合同の同窓会は 5 年ぶりで、中島博先生、中川経治先生のご来臨をえて、総員 30 名の同窓会となりました。

第一日目は小松市在住の大西信久君のお世話で片山津温泉の老舗旅館「矢田屋松濤園」に集合し、午後 4 時より、第一部の記念講演会が開かれました。最初に中川経治先生に「わたしのまるまる昭和」と題して、世界を股にかけた先生の国際交流につき講演していただきました。引き続き、同級生の今井秀志君に「好き勝手なラッキー人生」と題して、彼の新聞記者としての豊富な経験の中からトピックスを二、三選んで話をしていただきました。なかでも、彼がイスラエル留学中、昭和 47 年岡本公三他の日本赤軍がテルアビブ、ロッド空港で乱射事件を起こした時、イスラエル特派員として彼の記事が連日、新聞の第一面を賑わした話は印象的でした。第二部の懇親会開会の前に、31 名の物故者に黙祷を捧げました。懇親会は最初に中川先生の卒寿のお祝いを申し上げ、続いて中島博先生による祝辞と乾杯のご発声で始まりました。テーブルには資料の小冊子「式次第、名簿、みんなの近況報告、甲陽学院歌、中高校歌、応援歌の歌詞」が配布されました。宴が進む中、各自の近況報告、余生の過ごし方などのスピーチがあり、中高校歌、学院歌斉唱で懇親会は終了しました。その後、カラオケや各部屋における会話で夜遅くまで盛り上がりました。

第二日目は観光組とゴルフ組に分かれてそれぞれ親睦を深めました。観光組は、加賀の名刹那谷寺、九谷焼窯跡展示館、加賀伝統工芸村ゆのくにの森、日本自動車博物館などから二、三か所を選んで見学、一部のものは金沢の兼六公園、金沢城へも足を延ばし、早春の加賀路を楽しみました。ゴルフ組は日本海をのぞむ名門片山津ゴルフクラブでプレーを楽しみました。スコアーは別としていつまでも元気でプレーしたいものだと話し合って解散しました。

出席者：集合写真、前列左から：大西、坪内、三木、中島先生、中川先生、今井、小野（彰）、直場、山縣；2 列目：中川、井上（修）、萬年、川地、田中、橋寺、林（信）、布谷、今川、田村；3 列目：政岡、中島、森、吉見、石原、樋口、小林、若狭、福田、加輪上、天知

（幹事：牛尾、大西、加輪上、田村、三木、若狭）

文責：三木好信

41回 「甲陽卒業55年の会」41回生集う

これまでも 30 周年、古希などで集合してきた昭和 35 年卒業の 41 回生が集まりました。
5 月 28 日（土）午後 5 時からノボテル甲子園 2 階の愛宕の間。共に学んだ高校キャンパス跡です。卒業以来初めて訪れたメンバーも。

最初に全員で記念写真。前田征良君らの司会で、呼びかけ人代表の守殿貞夫君による物故者への献杯、つづいて互いの健在を祝しての乾杯ではじまりました。参加者 42 名全員のショートスピーチは、無事に時間内でおさまり、司会者もほっとする光景。最後に三田俊彦君が甲陽学院同窓会による名簿編さんへの協力をよびかけて、1 階の 2 次会会場へ移動しました。遠隔地への帰宅者はここで退出。30 余名がひきつづき歓談。

出席者は A 組（故三谷正先生）7 名（浦浜荘祐、川野家稔、竹内修、橋本久、前田征良、植田誠、河崎俊雄）、B 組（故山岡利生先生）12 名（上原良、梶原廣、守殿貞夫夫妻、小林輝男、鷺川泰典、谷口増雄、竹安清、難波康熙、蓁目吉英、松原千代繁、三田俊彦、山下隆）、C 組（故伊藤健三先生）21 名（泉隆雄、糸田川敞三、川口平八郎、北川公一夫妻、島秀典、助野光男、関正美、田嶋弘、西村栄祐、西山祥男、沼野治郎、濱崎康彦、濱田洪一、平島徳治、深見弘平、前田和秀、松田楢臣、目良至朗、山縣英治、山下忠義、吉井吉男）　合計 44 名でした。

なお判明している物故者は、A 組 9 名（生村吾郎、大家暁雄、三枝志貴雄、斉藤晴彦、長町知昭、宮本匡晴、吉村恂、中井通夫、葭野藤夫）、B 組 6 名（成川勲、野口一彦、峰尾彦一郎、吉野光久、吉本浩三、米田俊彦）、C 組 3 名（伊藤重英、阪本陸志、南雲徹己）。

3 クラスの出席者数・物故者数の大きな開きは、何故か。話題の一つとなりました。

〔蓁目・橋本〕

65回 甲陽学院高校６５回生同窓会

平成 27 年 12 月 30 日にグランヴィア大阪で 7 年ぶり 3 回目の同窓会を開催。61 名もの同級生が参加してくれました。

同窓会当日の受付で、司会者の田村和哉君が緊張のおももち。「やっぱ顔と名前を一致させな失礼やろ？」出席者の中には高校卒業以来 32 年ぶりに会う同級生もいます。でも杞憂でした。みんな昔と同じ雰囲気で登場、すぐにわかりました。

恩師も北畑健一先生、松井義知先生、半田宣行先生にご臨席いただき、同級生も国内外から続々と到着。一番遠方は若林正敏君、フィンランドから駆けつけてくれました。

乾杯のご発声は、半田先生。「同窓会の案内が来たときは本当に嬉しかった。卒業以来、どんな姿になっているかが楽しみでしたが、みな素晴らしく立派になっています。当時の可愛らしい青年の顔から、責任者の顔になっています」と再会の喜びを語ってくださいました。

近況報告は卒業写真の映像をバックに、A 組から一人一人壇上にあがります。司会者の田村君から注意事項。「ひとり 2 分以内でお願いします。今の地位とか無用です。当時の思い出を交えてお話しください」それぞれの昔ばなしや、今だから言えるハナシ、暴露ばなし。会場は爆笑につぐ爆笑。

次は B 組担任の北畑先生のご挨拶です。「2014 年に定年退職しました。今は孫の面倒と、90 歳になる義母の介護です。12 月には大阪城ホールの 1 万人の第九に参加します。ピアノも習っていて、生き生きとした毎日を送るなか、今まで多くの方々に支えられていたことに感謝しています。皆さんも、毎日を大事にしてください」

後半は、C 組担任の半田先生のご挨拶からスタート。「100 歳まで生きたいと願い、駆け足、足踏みを 1000 回していました。9 月頃から体力が衰えてきましたが、それでも 3 日に 1 回のペースで、300 ～ 500 回しています。88 歳になり、健康の大切さを実感しています。皆さんもお体を大切に」

このあと、在米の豊田吉哉君の DVD 映像を流しました。それは密着取材番組の様な高品質映像。登場人物は全員外国人ですから、まるでアメリカのドキュメント番組です。登場した同僚医師は「患者も彼には全幅の信頼をよせている。心やさしく繊細で、将来が楽しみだ」とのこと。

最後は D 組担任の松井先生のご挨拶。「2013 年に定年

退職しました。中村先生のあとを受けてＤ組担任になった当時は『たいへんなクラスを受け持つことになったな』と思いました（笑）。2017 年 2 月、甲陽学院は 100 周年を迎えます。皆さんと再会するのを楽しみにしています」

続いて恩師への記念品贈呈式。三谷利満君が手当てした「高級鰹節・昆布の詰め合わせ」です。たのしい時間が過ぎるのは早いもの。記念撮影をして、お開きとなりました。

みんなの近況報告を聴き、それぞれ挫折や苦難を乗り越えて今日があるのを知りました。私自身、甲陽学院での学生時代はもちろん、卒業後から今に至る同級生との絆は、何物にも代えがたい財産です。社会に出て今なお、こうして交流しているのが本当に楽しいし、幸せを実感しています。みんなと同級生で良かったです。

今回の素敵な同窓会は、とりわけ弥重功君と三宅啓之君が多くの労力を費やしてくれました。この場をお借りしてお礼申し上げます。皆さん、またお会いしましょう。

（記　山下太郎）

サッカー部　東京ＯＢ会

５月 21 日（土）神奈川県川崎市にある商船三井㈱グランドにて、毎年恒例になりつつある甲陽学院サッカー部の第三回ＯＢ会を開催しました。第一部は同社との親善試合。甲陽は 15 名のＯＢが集まり、ほぼ同年代のメンバーを揃えていただいた商船三井㈱ＯＢと試合を行い３―０で完敗しました。初夏の強い日差しと、30℃の気温で、体力的にきつかったですが、終盤には中高時代の息の合ったプレーも見られ、怪我もなく、サッカーを楽しむことが出来ました。第二部は町田駅近くのレストランで懇親会を行いました。商船三井に昭和 47 年に入社し、現在同社のＯＢでもある 49 回齊藤さんから、辰馬家と商船三井の“ご縁（※）”が紹介され、歴史の偶然を感じました。

※　江戸時代中期からの、銘酒「白鹿」の醸造元であった辰馬家は、自らが擁する樽廻船で自家醸造の清酒を輸送することを目的に、明治 18 年「辰馬回漕店」を設立した。その後明治 42 年海運専門企業「辰馬汽船合資会社」が設立され、大正５年に「辰馬汽船㈱」、昭和 22 年に「新日本汽船㈱」へと改組され、その後の海運業界内の合併を経て、現在の商船三井㈱に成長してきたという歴史。

来年も同時期の同時間帯（関西からの日帰り参加が可能）に開催する予定です。中高サッカー部に在籍されていた方は、ご都合をつけていただき参加ください。第一、二部のみの参加も大歓迎です。

（記　幹事 56 回　門田　英稔）

甲陽史学会

平成 27 年 8 月 29 日（土）午前 10 時から正午まで、会員総会に先立って、ノボテル甲子園で、甲陽史学会例会が開催されました。講師は甲陽学院を定年退職された山内英正先生。「柿本人麻呂・山辺赤人の信仰と伝説―歌聖は如何にして誕生し、変容していったか―」と題する講演でした。全国に展開した人丸神社、さまざまな在り方と伝承、そして現在に生きる信仰とは。大変興味深い話題で、しかも意表を突く信仰のありかた。かたや赤人は？全国探訪の成果と今後の見通しを熱く語られました。講演後の質疑は活発に行われました。次回も会員総会当日の午前中に行います。初めての方も大歓迎します。

〈参加者〉新井粂一郎・長尾武志・森本康資（37 回）、江崎健一郎（38 回）、橋本久（41 回）、中島利清（43 回）、荒木知・木谷義紀・田辺征夫（44 回）、五十川伸矢（50 回）、久加天忠（51 回）、武田信一郎（52 回）、久義裕（62 回）ほか５名

（記　41 回　橋本　久）

第５回　関西甲陽ネット開催

関西での甲陽生のネットワーキングを活発化させるべく、首都圏での集まりを参考に発足した関西甲陽ネットもおかげさまで第五回をむかえました。先輩方の協力にも恵まれ、これまでに甲子園球場や朝日放送をはじめとする施設を見学させていただきましたが、今回は中学校での講堂見納め会にあわせて 4 月 10 日（日）午後に大阪梅田にて講演会を行いました。講演してくださったのは山下正昭校長です。

年度始めのあわただしい時期ではありましたが、甲陽での教員生活が今年で 44 年目という山下先生のお話を聞きたいと 55 名の方が参加してくださいました。参加者も、山下先生が担任をされた 62 回生や 69 回生をはじめ、45 回生（西村同窓会会長）から現在大学生という 93 回まで幅広く、そして関西在住の方はもちろん、恩師に会うため東京から日帰りで参加という方も何人かおられました。

山下先生のお話は、最近の大学受験事情の話題もまじえつつ、先生が甲陽にこられた 1973 年ごろの思い出からスタート。当時の高校は甲子園球場の隣にあり、出席をとったら「あいつは阪神パークにいきました」という返事があった、灘校生の友人と学校を入れ替えて授業に出ていた（つまり教室に灘校生が座っていた）、修学旅行先で点呼をとったら人数が足りず周囲を探しまわったらスナックで酒を飲んでいた（走って追っかけようとしても下駄を履いていて逃げる生徒たちを捕まえられなかった）といった私の世代にはなかったような逸話が次々と披露されました。ただ、隣に座っていた先輩は「確かにボクも高校の修学旅行で初めてストリップを見たなぁ…」とつぶやいていて、なるほどそういう時代だったのですね。

もっとも、75 回生である私の体験もいま甲陽に通う生徒たちからすれば異文化にみえることでしょう。現在の甲陽学院の様子を耳にするといろいろな変化があるのだなぁと痛感させられることばかり。例えば、全員参加ではないようですが海外研修があり、生きた英語を学ぶ機会があるようです（「受験英語もけっこう役に立つやんか」というのが私のオーストラリア生活での実感ではありますが）。大学受験に備えて、中学校から塾に通う、あるいは高校で補習授業があるといったことも、へー知らなかった、と思うようなことでした。

もちろん、山下校長のお話からは、変わらない甲陽の気質、あるいはプライドというものを感じることもできました。例えば､現在「国際的に活躍できるグローバル･リーダーの育成」を目指して「スーパーグローバルハイスクール」の指定が文部科学省によって行われています。講演では、そのような国からの政策に右往左往せずにこれまでの教育方針を堅持するという姿勢が、山下校長からはっきりと示されました。何だかよくわからないまま何はともあれ「スーパーグローバル化」を推し進めることが半ば前提となっている教育現場（大学）にいる私としては、いま流行りの百人一首の言葉を借りるならば、「ちはやぶる神代も聞かず」と詠いたくなるほどの驚きでしたが､むしろそちらの方が普通なのかもしれません。

講演の後、質疑応答があり、第二部では懇親会を行いました。世代を越えた同窓の交流がみられ、盛会のうちに第五回関西甲陽ネットは終わりました。その後は盛り場で二次会へという方も多かったのではないかと思います。第六回を年内に開きたいと考えております。日時・場所などの詳細は後日お知らせする予定です。また施設見学など今後の企画に関するご提案も大歓迎です。どうぞよろしくお願いいたします。　（75回 辛島理人）

告　知　板

「甲陽史学会のお知らせ」

平成28年８月27日（土）午前10時から正午まで、ノボテル甲子園ホテルで、「甲陽史学会」を開催いたします。報告者は元宝塚市教育委員会で文化財行政を担当しておられた直宮憲市さん、テーマは「八角墳の出現とその歴史的意義について」です。宝塚で七角墳を発掘し七世紀の天皇陵につながる重要なテーマを開拓されました。大いに期待してください。同窓生の皆さんをお待ちしています。参加希望者は橋本（41回）までご連絡ください。資料準備の都合がありますので。（TEL/FAX 0798-47-8574）

☆ 新卒者の終身会費制度 ☆

今年高校を卒業した97回生の皆さんは、卒業時点で終身会費を納めることを選択できます。

また、これに伴い、卒業後7年以内の方（卒業時に7年分の年会費を前納）でも、ご希望により終身会費制に移行していただけるようになっています。その際の金額はP.5の表をご覧下さい。

☆「会報・甲陽だより」の原稿募集

＊次号・第95号は、来年2月末頃に発行を予定しています。
＊「会員だより（同期会・クラス会）」・「運動部・文化部のOB会だより」などのご投稿をお待ちしています。
＊原稿の締切日は、来年１月10日です。

名簿調査のお願い

現在、名簿発行に向けて調査を進めておりますが、まだ、住所不明の方がいらっしゃいます。

ご自身の学年の不明者について、調査のご協力をいただける方は同窓会事務局までお申し出ください。

不明者一覧表と連絡用紙を業務委託先のサラトより送らせていただきます。　同窓会事務局

■あて名ラベルの記号の見方

既に終身会費や年会費をお納めの方には失礼ですが、今回も振込用紙を同封しております。未納の方は、よろしくお納め下さい。

平成 28 年 5 月 31 日現在での同窓会費の納入状況をご案内しています。

例：終身会費Ｈ２０年度

♪卒１１１	１１１１１	１１１１１	１１００終

①枠の上には、前納の年度、または、終身会費をお支払い頂いた年度を示しています。その他の場合、この表示はありません。

②枠内には、順に平成元年度、２年度、…28 年度の年会費のお支払い状況を示しています。

▼　記号の意味

1	当該年度分の年会費を納入済	終	当該年度に終身会費を納入	♪	甲陽学院を卒業するまでの年
0	当該年度分の年会費を未納			卒	その年の３月に卒業

従いまして、<u>下段に含まれる０の個数　×　年会費</u>が、未納の年会費となります。同封の振込用紙にてお支払い下さい。

★H 元年以降にご卒業の方は、卒業時から７年分の年会費を予めお納め頂いております。
次の２つの例をご参照下さい。

♪♪♪♪♪ ０００００	♪♪♪卒１ ０００	１１１１１	１１１１１

H21 年以降は未納です。未納分をお納め下さい

♪♪♪♪♪ １１１１１	♪♪♪♪♪ １１１	♪♪♪♪♪	♪♪♪♪卒

H20 年３月にご卒業、さらに１年分の年会費を頂いたので H28 年度まで納付しておられます。

◎尚、年会費を納められるとき「何年度分」と指定されても、過去分が未納の場合、
そちらへ充当させていただいております。また不明の場合は、事務局までお問い合せ下さい。

訃報

事務局では左記会員の逝去の報に接しました。謹んで哀悼の意を表します。

（平成28年6月30日現在）

植松俊太郎氏(2回) 90年3月21日
松島雄一郎氏(7回) 00年9月1日
川勝庸一郎氏(9回) 10年4月10日
十場　十一氏(10回) 05年11月23日
野口　淳一氏(10回) 08年4月2日
北村　隆麿氏(11回) 14年8月17日
熊本　群司氏(11回) 14年9月
藤本　孝次氏(12回) 12年6月21日
吉田　徳三氏(13回) 15年11月15日
久保　基也氏(13回) 16年3月1日
村山　武久氏(14回) 01年11月28日
吉田　安平氏(14回) 98年9月1日
橘　熙氏(15回) 12年1月30日
北畑　康夫氏(15回) 16年2月10日
広田　利男氏(15回) 06年2月17日
橋本　憲二氏(15回) 04年8月27日
宮尾彦太郎氏(16回) 09年2月20日
浅尾　義雄氏(16回) 11年4月21日
中屋　重和氏(16回) 11年11月7日
田中　壽一氏(16回) 16年3月20日
松本　盛二氏(16回)
中野　正氏(18回) 16年2月13日
木村　英造氏(18回) 16年3月14日
高河原助右衛門氏(19回) 14年10月4日
高山　樹氏(19回)
中務　義秀氏(19回) 11年12月27日
浜崎　忠氏(19回) 99年4月4日
大平　和男氏(19回) 04年1月15日
金子　良氏(19回) 10年11月4日
東　秀俊氏(20回) 90年1月31日
今井　章氏(20回) 04年4月14日
北本　正氏(20回) 15年8月29日
福本　隆久氏(20回) 94年8月9日
須藤　隆一氏(20回) 07年11月26日

田納　望氏(20回) 16年4月1日
川口平三郎氏(20回) 16年6月3日
藤井　保氏(21回) 15年6月20日
大内　栄一氏(21回) 11年5月9日
森　敏雄氏(21回) 12年4月28日
田中　富雄氏(21回) 15年5月18日
中尾　武生氏(21回)
林　信男氏(21回) 15年10月20日
藤本　聡氏(21回) 08年11月24日
平瀬　博司氏(21回) 05年5月19日
齋藤　重二氏(21回)
石堂　宰氏(22回) 12年8月24日
菊池　俊和氏(22回)
井尻　敦也氏(22回) 15年9月10日
村井　宏氏(22回) 97年11月1日
南　喬氏(22回) 15年10月27日
玉田　潤氏(22回)
山本　一郎氏(23回) 16年2月1日
吉山　成馬氏(23回) 16年2月17日
中村喜太郎氏(23回) 10年6月26日
加藤喜久男氏(23回) 15年10月26日
西尾　勉氏(23回) 12年12月12日
田辺　政三氏(24回) 14年5月7日
呉竹　緑氏(24回) 14年2月10日
岩谷　忠美氏(24回)
横嶋　貞夫氏(24回) 12年12月4日
前野　和郎氏(24回) 15年11月25日
福井　泉氏(24回) 10年12月25日
比留井　博氏(24回) 09年4月26日
中尾　博氏(25回) 16年3月3日
對木　道磨氏(25回) 12年9月5日
谷　尤氏(25回) 11年8月4日
坂田　保夫氏(25回)
増田　忠夫氏(25回)
藤本　建一氏(25回) 14年8月3日
五十嵐喜芳氏(25回) 11年9月23日
山中　平吉氏(25回) 15年12月12日
日下　章氏(25回) 04年1月10日
松浦　守氏(25回) 14年10月4日

吉村　光一氏(25回) 14年1月21日
吉田　泰弘氏(25回) 14年3月8日
福島　武男氏(25回)
林　正夫氏(27回) 11年3月23日
水沼　輝雄氏(27回) 11年3月2日
西山　治氏(27回) 15年8月17日
中西　眞喜氏(27回) 01年5月9日
伊藤　恒夫氏(27回) 15年10月25日
浦松　宗吉氏(27回) 08年11月16日
菅原　光誠氏(27回) 13年11月28日
陰山　征夫氏(28回) 03年3月6日
小島　一彦氏(28回) 00年9月3日
佐久間三郎氏(28回) 05年7月16日
北田　典男氏(28回) 15年1月9日
中野　久氏(28回) 16年3月27日
大江隆二郎氏(29回) 12年7月25日
川地陽一郎氏(31回) 11年7月1日
安達　孝三氏(31回) 14年1月7日
加藤　耕三氏(31回) 14年6月27日
近藤　博信氏(31回) 05年8月
貴志　勉氏(32回) 98年2月8日
芦辺　昭彦氏(32回) 16年2月26日
坂井　勲氏(32回) 05年6月16日
馬場　威氏(32回) 16年1月25日
西田　猛氏(32回) 16年2月25日
越智　俊彦氏(33回) 14年8月1日
松永　謹也氏(33回) 09年4月10日
松下　政夫氏(33回) 14年10月27日
札野　茂明氏(33回) 15年4月21日
中川　健氏(33回) 11年4月21日
山内　邦弘氏(33回) 15年5月29日
太田　順造氏(33回) 10年12月7日
彼末　卓郎氏(34回) 16年2月26日
寺澤　洋介氏(35回) 16年2月8日
樋口　和司氏(35回)
吉本　博昭氏(36回)
巴　稔氏(37回)
奥野　汎氏(37回) 15年5月25日
目黒　徹雄氏(37回) 16年1月14日

山田　一郎氏(37回) 13年7月16日
吉田　雍一氏(37回) 16年2月1日
佐藤　正氏(39回) 15年11月8日
星野　立氏(39回) 13年7月22日
前田　隆平氏(39回) 16年5月8日
山口　広伸氏(39回) 16年1月26日
忽那　正司氏(41回) 16年2月7日
斉藤　晴彦氏(41回) 14年8月24日
中井　通夫氏(41回) 16年2月29日
南雲　徹己氏(41回) 13年8月18日
金田　保夫氏(42回) 14年11月2日
鴻池　武徳氏(42回) 14年8月19日
堤　貞夫氏(42回) 15年3月9日
佐藤　俊輔氏(43回)
熊谷　和夫氏(43回)
池田　聡一氏(43回) 16年2月7日
石浜　靖民氏(43回)
山田　耕造氏(43回)
花木　享氏(43回)
檜垣　満氏(43回) 16年1月5日
竹村　正氏(46回)
鵜飼　悟氏(48回)
遠山　哲美氏(48回) 15年11月27日
向畑　良作氏(49回) 11年5月20日
金山　恒夫氏(49回) 10年3月17日
中川　隆氏(49回) 14年12月27日
永井　英明氏(49回) 13年4月10日
原田　眞澄氏(50回)
谷池　義人氏(50回) 16年3月21日
井上　誠氏(50回)
小松　得秀氏(51回) 12年1月16日
佐山　茂樹氏(53回) 16年3月11日
鵜野　能成氏(54回) 16年2月17日
安部　義文氏(54回) 08年6月11日
岡沢　俊哉氏(66回) 07年3月8日
中西　豊彦氏(55回) 15年1月27日
川端　健平氏(69回) 14年2月9日
金津　亨氏(70回) 15年12月20日
松田俊一郎氏(79回) 02年12月27日

山岡　武史氏(81回) 05年2月2日
車　英三郎氏(工経) 15年7月19日
谷口　守男氏(工経) 06年4月10日
河合　康美氏(工経)
藤井　雅人氏(工経) 14年11月
井上　良一氏(工専1) 01年12月4日
芝池　正光氏(工専1) 10年11月3日
杉浦　憲男氏(高商41工専41) 11年5月18日
滝川　良明氏(工専1)
小野　文郎氏(工専1) 14年10月31日
上田　功三氏(工専1) 15年4月7日
顯谷　利文氏(工専1) 14年8月29日
南　與一郎氏(高商41工専41) 13年12月17日
茶谷　寿一氏(工専2) 16年3月6日
三浦　光雄氏(工専2) 11年9月17日
杉岡　章弘氏(工専2) 15年9月23日
勝山　毅氏(工専2) 16年3月23日
宗田　久雄氏(高商1) 16年4月29日
近堀嘉一郎氏(高商1) 12年11月24日
板家　良樹氏(高商1) 15年12月28日
亀井　重治氏(高商1) 16年1月12日
髙橋　壽之氏(高商2) 16年2月5日
平岡　正基氏(高商2) 10年3月27日
和田　祥吾氏(高商2)
藤本　茂氏(高商2) 14年3月21日
金子　良氏(高商2) 10年11月4日
福井　游之氏(高商3) 14年3月23日
貴田　正孝氏(高商3) 12年11月2日
柴本　芳郎氏(高商4) 15年7月4日
柴野　敏雄氏(高商4) 09年12月31日
北口　重秋氏(高商4) 03年9月10日
酒井信次郎氏(高商4) 16年3月25日
木村　桃介氏(高商4) 93年12月22日
野村　和郎氏(高商4)
佐々木繁雄氏(高商2) 15年12月17日

夏の会員総会にみんなで参加しよう

8月27日（土）13時～16時30分　於：ノボテル甲子園

夏恒例の今年の会員総会は次のような要領にて開催いたします。同窓の先輩、同輩、後輩、友人、知人お誘い合わせの上、ふるってご参加ください。ご家族の同伴も歓迎です。

＜第１部＞　式典と講演会

（13時～ 14時30分）

演　題　「ナイルに架ける橋」

講　師　坂井逸朗氏（47回卒）

詳しくは第1面をご覧ください。

＜第２部＞　懇親会と「スライドで綴る今どきの甲陽生」

（14時45分～ 16時30分）

第2部は、会場を「甲陽の間」に移して、懇親会です。懐かしい恩師の先生方、同窓の友人たちを囲みながら、ご寄贈いただいた清酒「白鹿」やサントリーのビール・ウイスキーに酔いしれながら、楽しい午後の一時をお過ごしください。

なお、第2部では、「スライドで綴る今どきの甲陽生」と題して、今の甲陽学院とそこに通う甲陽生たちの姿を写真とお話で紹介します。自身の甲陽生時代と重ね合わせその違いや意外な？共通点を楽しんでいただけるのではないかと思っています。

今回の主役、ホームカミング学年は、47回（卒業50年）、62回（卒業35年）、72回（卒業25年）です。舞台への登壇、記念品の贈呈を予定していますので、是非ご参加ください。

なお、昨年に引き続き今回も総合司会は高橋知裕さんにお願いしています。読売テレビ「奥様情報ＢＯＸ」や「日本直販テレビショッピング」などテレビでご活躍中です。ご期待ください。

今すぐご予約を！ 夏の会員総会申込方法

日　時　平成 28年 8 月27日（土）
13 時～16 時 30分

会　場　ノボテル甲子園　TEL 0798-48-1111
西宮市甲子園高潮町３－ 20
阪神電車甲子園駅西口下車すぐ

会　費　一般会員　6,500 円（当日会費）
学生会員　2,000 円（当日会費）
同伴家族　2,000 円（当日会費）
新卒者（平成 28年 3 月卒業97回生）無料

申込方法　同封の振込用紙で、8 月19日（金）までに会費をお振込み下さい。
または 8 月22日（月）までに事務局へ参加のご予約を下さい。（葉書、電話、ＦＡＸ、メールにて）
ご予約の場合は特別割引として、一般会員は 6,000 円、学生・同伴家族は 1,500 円とさせていただきます。

※当日の料理・名札の準備がありますので、できるだけ事前振込かご予約をお願いいたします。

申込先・問い合せ
甲陽学院同窓会事務局
〒 662-0096　西宮市角石町 3-138
TEL 0798-71-4888（月･水･木･金 10時～16時）
FAX 0798-71-4890
メール　fvgp1650@mb.infoweb.ne.jp
※ 8 月12日～19日は母校の夏期閉鎖期間となるため同窓会事務局も閉鎖となります。

☆まだまだ暑い頃ですので、当日はカジュアルな服装でご参加ください。

☆平成15年の役員総会の決議で、新卒者以外の無料会員の制度が廃止になりました。上記の会費で運営いたしたく、ご了承下さいますようお願い申し上げます。